

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 26 年 2 月 10 日

設置・運営主体	公益財団法人 鉄道弘済会		
設置主体	公益財団法人 鉄道弘済会		
経営主体	公益財団法人 鉄道弘済会		
事業所名 (施設名)	(公財) 鉄道弘済会 戸田駅前保育所 (おひさま保育園)	種別	保育所
所在地	〒 335-0021 埼玉県戸田市新曽213-4		
電話	048-447-8860		
FAX	048-447-8861		
Email	katsuhiko-takano@kousaikai.or.jp		
URL	http://www.kousaikai.or.jp/sukoyaka/toda/index.html		
施設長氏名	鷹野 勝 広		
調査対応担当者	鷹野 勝 広 (所属、職名：戸田駅前保育所 所長)		
利用定員	60 名	開設年	平成 16年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念：一人ひとりの子どもを大切に、保護者や地域社会から信頼され、選ばれる保育所を目指す。</p> <p>保育方針：○自然に触れ、季節の移り変わりを感じながら、豊かな心を育むとともに友達や地域社会の様々なふれ合いの中で、豊かな愛情や信頼を深める。</p> <p>○バランスのとれた食事、季節感のある食事を取り入れ、食べる楽しさを味わう。食への感謝の気持ちを大切に、野菜作りやクッキングなどを通して食への興味、食べる意欲を育てる。</p> <p>○様々な遊びを楽しむ中で、十分に身体を動かし、自ら考え活動し、表現することの楽しさや達成感を味わえる保育を目指す。</p> <p>保育目標：○心豊かで思いやりのある子ども ○食への興味、関心を持ち、食を大切にすることも自ら考え意欲を持ち最後まで諦めない子ども</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日：7:00～20:00、土曜日：7:00～19:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	10	10	1		4
1歳児	10	10	1		3
2歳児	10	11	1		2
3歳児	10	13	1		1
4歳児	10	12	1		1
5歳児	10	14	1		1
計	60	70	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数	21人			
うち	保育士	15人	保健師・看護師	1人
	栄養士・調理員	3人	その他（ 所長・主任 ）	2人
非常勤職員数	5人（常勤換算 2.5人）			
うち	保育士	4人	（常勤換算	2.2人）
	保健師・看護師	人	（常勤換算	人）
	栄養士・調理員	1人	（常勤換算	0.3人）
	その他（	）	人	（常勤換算

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	4人	非常勤：	人
	退職	常勤：	5人	非常勤：	人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		38歳（歳）			
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		7年（年）			

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1時間2,500円 2時間4,000円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育	○	午前のみ1,000円 1日2,000
地域子育て支援センター	○	
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名:)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 25 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

人

・ボランティアの業務

【実習生の受け入れ】

・平成 25 年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 11 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)		589 m ²
	児童1人あたり	9.8 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積		786 m ²
	児童1人あたり	13.1 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	16年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・保育懇談会や保育参加の際は個人面談の時間を設け、担当保育士から保護者に意見を聴いている。参加できない保護者には年に2回以上の面談を別日に設けている。また保護者からの問い合わせや面談の要望には随時応じている。家庭と園を結ぶ連絡ノートは、全園児対象にしており、連絡ノートでも意見を聴ける体制を整えている。面談の内容によっては、園長、主任、看護師、調理師も同席している。・玄関に「おひさまPOST」を設置し、意見、要望、苦情等を随時受け付けている。保護者が気軽に投函できるよう、熊のイラストが描かれたピンクの手作りPOSTである。保護者の承諾が得られたものに関しては、玄関の掲示ボードにて内容を保護者に知らせている。また第三者委員制度を設置し、苦情解決に努めている。・保護者参加の大きな行事や保育参加のあとには保護者アンケートを取り、保護者の意見を受け入れて次の行事に反映させている。またアンケートを集計したものを保護者向けに玄関の掲示ボードにて知らせている。園と保護者会主催の行事(夏祭り・講演会)に関しては、保護者会でアンケートを取り集計している。・年度末には、職員の接遇面や対応についてのアンケートを取っている。職員で成り立つ「接遇委員」が集計をし、職員の自己の振り返りに役立っている。

【その他特記事項】

・JR埼京線戸田駅から徒歩2分の駅型保育所でありながら公園に隣接した自然環境と、暖かみのある木造平屋建て園舎で生活をしている。
・地域交流活動の一環として、茶道教室(地域の高校の茶道室をお借りし、地域のかたが指導してくださっている)や高齢者施設訪問などを通して心の豊かさと思いやりを育てている。地域の中学校の職業体験、高等学校のインターンシップ、ボランティア等は一年を通じて受け入れを行っている。子育て支援センターを併設し、地域の親子向けの子育て支援プログラムを日々用意している。おもちゃ図書館、ぱぱとら、絵本講座は月に1回行い、地域の保育ニーズに応えている。
・野菜作り、チャイルドクッキング、行事食などを通して食を大切に作る気持ちを育てている。給食、おやつ、おやつの掲示、レシピ紹介、食育だよりの配布などで、家庭への食育活動に繋がる取り組みを行っている。
・運動遊びなどで身体を動かし達成感を味わい最後まで諦めない気持ちを育てている。運動あそびの成果は運動会で発表している。
・園児一人ひとりを大切に、子どもの育ちを保護者とともに支援している。